

Ossila 社 スピンコーラー

型番: L2001A3

真空ポンプを使わずに高品質な薄膜を簡単に作製できるスピンコーラーです。基板の反りを防ぎ、均一な膜形成を実現する設計で、世界中の研究者から高い評価を得ています。結晶化や超薄膜、多層コーティングなど幅広いプロセスに対応し、条件設定も自由自在。さらに、ユーザーごとにプロファイルを保存できるため、共同研究施設での利用にも最適です。



真空不要
均一な薄膜形成



回転速度範囲
最大 6,000 rpm



長時間スピン
最大 1,000 秒



マルチ基板対応チャック
エアフローを改善した設計

回転速度の安定性	誤差 2%未満
回転速度範囲	120 ~ 6,000 rpm
スピン時間	1 ~ 1,000 秒
ユーザープロファイル数	10
材質	ポリプロピレン製ボウル、スチール製筐体、強化ガラス製カバー
重量	2.75 kg

その他の仕様

最大基板サイズ	100 mm (4") 径
プログラム	各ユーザー プロファイルに 10 プログラム、最大 50 ステップ
安全スイッチ	ドアに磁気式安全スイッチを搭載
追加機能	水平器内蔵、調整可能な脚部
寸法(奥行 × 幅 × 高さ)	225 mm × 170 mm × 140 mm (8.86" × 6.69" × 5.51")
電源	DC 24 V 2 A (100~240 V, 50/60 Hz 対応アダプター経由)

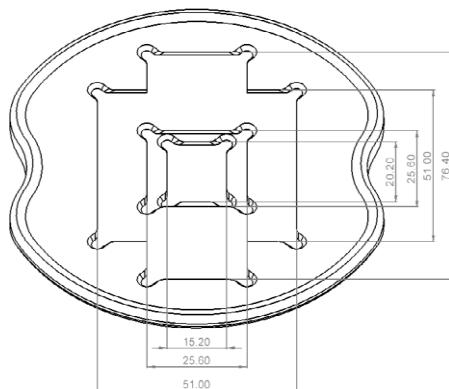
スピンコーラー チャック仕様

用途に応じて、チャックの材質をポリプロピレン(PP)、PTFE、または PEEK から選択できます。設計は、以下のような一般的な基板サイズに対応しています：

- 20 mm × 15 mm
- 25 mm × 25 mm (1" × 1")
- 50 mm × 50 mm (2" × 2")
- 75 mm × 25 mm (3" × 1")

その他のサイズについては、要望に応じてカスタムチャックを製作可能です。

カスタムチャックをご注文の際は、長さ・幅・深さをご指定ください。

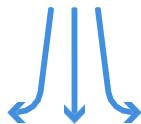


Ossila 社 スピンコーラー Advanced

型番: L2001B2

複雑で高精度なスピンコーティングを自在にコントロールできるアドバンスモデル。回転速度の安定性は誤差 0.25%未満と非常に高く、より均一で信頼性のあるコーティングを実現します。

さらに、広い回転速度範囲により、高粘度の材料にも対応し、目的の膜厚を柔軟に調整可能。最大スピンサイクル時間の延長によって、溶媒の蒸発や層形成をより精密に制御できます。これは、多層膜や段階的特性を持つフィルムの作製に不可欠な機能です。



真空不要

均一な薄膜形成



回転速度範囲

最大 10,000 rpm



長時間スピン

最大 3,600 秒



マルチ基板対応チャック

エアフローを改善した設計

回転速度の安定性	誤差 0.25%未満
回転速度範囲	500 ~ 10,000 rpm
加速／減速制御	あり
最大加速度	4,000 rpm/s
最大減速度	700 rpm/s
最小加速／減速	10 rpm/s
スピン時間	1 ~ 3,600 秒
ユーザープロファイル数	15
材質	ポリテトラフルオロエチレン製ボウル、粉体塗装スチール製筐体、強化ガラス製カバー
重量	3.7 kg

その他の仕様

最大基板サイズ	100 mm(4") 径
プログラム	各ユーザープロファイルに 10 プログラム、最大 50 ステップ
安全スイッチ	ドアに磁気式安全スイッチを搭載
追加機能	水平器内蔵、調整可能な脚部
寸法(奥行 × 幅 × 高さ)	225 mm × 170 mm × 140 mm (8.86" × 6.69" × 5.51")
電源	DC 24 V 2 A (100~240 V, 50/60 Hz 対応アダプター経由)

なぜ真空ポンプ不要のスピンコーラーなのか?

真空ラインを必要としないため、設置や運用が簡単で、メンテナンスの手間も大幅に削減できます。さらに、薄く柔軟な基板でも反りや損傷を防ぎ、均一な膜を形成可能。真空ポンプや追加装置が不要なため、コストを抑えながら信頼性の高いスピンコーティングを実現します。